

# 東京女子医科大学雑誌～チェックシート～

平成 29 年 8 月

以下の□にすべてチェックが入った状態で投稿してください

## 提出書類

- 紙原稿 3 部
- 原稿の電子データ
  - 表紙・本文（倫理審査，利益相反を含む）を「本文」ファイルとする
  - 図・写真の説明を「図説」ファイルとする
  - 図・写真または表を「図」「表」ファイルとする
  - 英文要旨を「英文要旨」ファイルとする
  - 和文要旨を「和文要旨」ファイルとする
- 投稿申込書
- <原著の場合>
  - 教授・講座主任または指導者の署名
- チェックシート（本紙）

## 原稿書式

- A4 判用紙
- 上下左右余白・行間を適宜とる
- 本文 1 頁目に文字数×行数を記す
- 原稿下部中央にページ番号を付す
- 小見出しの番号は，1. → 1) → (1) → ①の順で使用する
- 略称を用いる場合，初出時に定義する
- 修飾文字（イタリック，上付き，下付き，プライム等）を使用する
- 原稿枚数の上限内である
- <原著と総説の場合>
  - 刷上り頁数（図表含む） 10 頁
  - 図表 10 点
- <報告の場合>
  - 刷上り頁数（図表含む） 6 頁
  - 図表 6 点

## 表紙

- A4 判用紙 1 枚におさめる
- 原稿の種類 ※原著/総説/報告など
- 和文タイトル
- 和文所属
- 著者氏名（フリガナ）
- 英文タイトル
- ローマ字著者氏名 ※名・姓の順，姓は大文字
- 英文所属
- 著者連絡先

## 本文構成

### <総説の場合>

- はじめに
- おわりに
- 謝辞
- 利益相反
- 文献

### <原著の場合>

- 緒言
- 対象および方法
- 結果
- 考察
- 結論
- 謝辞
- 利益相反
- 文献

### <報告の場合>

- 緒言
- 症例
  - 患者
  - 主訴
  - 既往歴
  - 現病歴
  - 血液生化学検査 など
- 考察
- 結論
- 謝辞
- 利益相反
- 文献

(裏へ)

#### 倫理審査

- 承認済 ※該当する場合は承認を得たことを“対象および方法”に記載してください  
非該当

#### 利益相反 ※文献の前に記載してください

<ない場合>

- 「開示すべき利益相反状態はない。」などと記載する

<ある場合>

- 「この研究の○%は×××からの支援により行った。」などと記載する

#### 文献

- 文献番号は本文引用順とする  
本文引用部分に肩書きする  
著者名は姓・名順とする  
省略を表すピリオドは不要  
雑誌名は略記する  
終頁は省略しない (例) 正：234-236 誤：234-6  
その他、記述法が正しい

<雑誌の場合>

- 1) 著者名3名+ほか または et al：論文のタイトル. 雑誌名の略記 巻(号)：始頁-終頁, 発行年

<著書(和文)の場合>

- 2) 著者名3名+ほか：引用章タイトル. 「書名」(編集・監修者名), pp 始頁-終頁, 出版社, 出版地(発行年)

<著書(英文)の場合>

- 3) 著者名3名+et al：引用章タイトル. In 書名(編集・監修者名 ed), pp 始頁-終頁, 出版社, 出版地(発行年)

#### 図(写真)の説明

- タイトルがある  
説明がある  
タイトルおよび説明を英語表記とする

#### 図(写真)

- 図・写真中の単語を英語表記とする  
文字サイズ・フォントを考慮して作成する  
本文出現順に図番号を明記する ※写真は図とする  
本文出現箇所を太字にする  
手札サイズの写真はA4判用紙に貼る(四隅のみ糊付け)  
同じ図番号の場合は同じ用紙におさめる  
<転載の場合>  
転載許諾を得る ※転載許諾書をご提出ください  
出典元情報を明記する

#### 表

- タイトルがある  
説明がある  
表中の単語, タイトルおよび説明を英語表記とする  
本文出現箇所を太字にする  
横線のみで構成する

#### 英文要旨

- A4判用紙1枚におさめる  
英文タイトル  
ローマ字著者氏名 ※名・姓の順, 姓は大文字  
英文所属  
本文200 words程度  
Key Words(英単語5個以内)

#### 和文要旨

- A4判用紙1枚におさめる  
和文タイトル  
和文所属  
著者氏名(フリガナ)  
本文800文字程度

署名